中村たいすけ だより

Taisuke Nakamura news paper

長崎県議会議員

24号



被爆80年。長崎を最後の被爆地に。

1945年8月9日、広島に続き長崎に原子爆弾が投下され、7万人もの尊い命が奪われました。今年は被爆80年を迎えます。ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、未だに世界で戦火が止むことはなく、核使用の緊張感が続いています。「長崎を最後の被爆地に」という、世界で唯一長崎からしか発信できないこの思いが世界から核を減らすことにつながると信じ、被爆80年の年に平和について見つめ直さなければならないと感じています。

今年は長崎が平和の祈りに包まれ、多くの方々が長崎を訪れ平和について深く考える年になって欲しいと願っています。

中村たいすけの令和7年6月議会報告

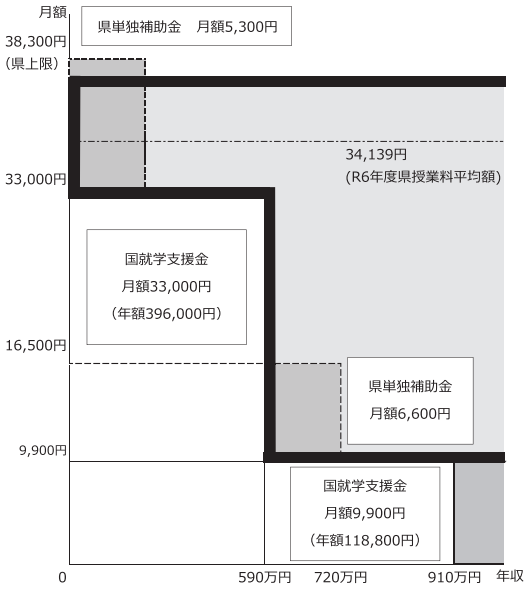
所管する文教厚生委員会での審議を主に掲載します。

① 所得制限撤廃により、対象となる世帯はご注意ください！

私立高校等において、就学支援金を受給していない年収約９１０万円以上世帯の高校生等を対象に授業料相当額の教育費を支援する「高等学校私立学校助成費」について、「所得による制限が無くなり原則すべての生徒が支援の対象」となっていますが、支援制度における手続きは国において定められており、これまでと同様に「申請がなければ支援の対象とはならない」との方針が今県議会で示されています。

制度への理解が十分でないため、申請をせず支援を受けられない世帯が生じないよう県には求めていますが、対象となられる世帯においては十分留意していただきますよう、お願いいたします。

今後、私立学校は一層個性を出した学校方針が示されることが予想されており、公立学校も私立に負けない取り組みが必要となります。国の私立学校への支援拡充が長崎県下の児童生徒全てにプラスになるよう、私も注視してまいります。



② 先生の働き方改革を

先日、「令和６年６月頃から令和７年３月までの間、担当する学級のテストのほとんどを採点等することなく、校内又は自宅に保管し、テスト結果を通知表に適切に反映させることを怠った小学校教諭を処分した」という事案が報道されました。

「学校だけでなく、社会においても精神疾患で思うように仕事をこなせないことは起こり得ることだが、テストが返却されなかったことがなぜ１年間も発覚しなかったのか？普通に考えてあってはならない。採点管理システムを導入すれば、クラスの平均点の誤差等から未採点に気づくことができるはず。」と尋ねたところ、県教育委員会からは「学校毎に採点管理を行なっており、県や市町毎でも採点管理システムを導入している自治体はない」との回答でした。

仕組みさえ整っていれば、当該教諭の処分は間違いなく防げました。そのためにもデジタルツールの導入を求めてまいります。

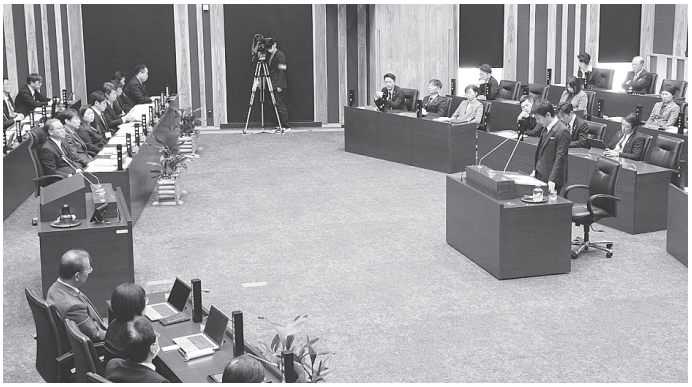


③ 大石知事の減給について

就任以降、政治とカネの問題で疑義がかけられている大石知事が、一連の問題の責任をとるため、３ヶ月間５０%減給するとした議案が賛成多数で可決されました。

我が改革２１会派は大石知事の政治とカネの問題に関する議論について県議会をリードし、百条委員会設置についてこれまで実質３度も議案のテーブルに載せてきましたが、自民党の反対多数で否決されてきました。地元紙である長崎新聞でも、未だに一連の疑義について説明責任が果たされていないと現知事を批判しています。今回減給により幕引きを図ろうとする意図が見透かされており、県民が真に求めていることは「納得のいく説明」であるとの主張のもと、減給議案に反対の姿勢を示しましたが、自民党の賛成多数で可決されました。

「民信無くば立たず」孔子は政治を行う上で大切なものとして、兵、食、信の３つを挙げ、その中で最も重要なのが信、国民からの信頼であると説きました。知事には今期就任最後まで県民への信頼回復の姿勢を求めてまいります。



県議会での大石知事追及の様子

5月下旬の文教厚生委員会での県内視察の内容を掲載します。

1 長崎県立大学訪問

ハウステンボスの会長も務める「坂口克彦 理事長」と文部科学省時代に中学校の校長を経験された「浅田和伸 学長」との意見交換のため、長崎県立大学佐世保校を訪問しました。

坂口理事長からは、民間で鍛え抜かれた経験値を生かした、地場企業と連携した運営方針が示され、大変力強く感じました。県費を支出している長崎県立大学の県内就職率の動向が注目されがちですが、大学は学問を学び個性を育てる場所であるが故に、先生からは学生を「県内就職」という枠にはめ過ぎても好ましくないという意見を頂きました。

私も一度長崎を離れた経験から長崎の良さを知ったこともあり、県内企業の魅力を伝えつつも、長崎県立大学の学生には視座を高くして学生生活を過ごしてもらいたい旨を、文教厚生委員長として改めてお伝えいたしました。



長崎県立大学佐世保校前にて（中央が理事長と学長）

2 長崎県こども医療福祉センター訪問

こども医療福祉センターは諫早市永昌東町にて、主に障害を持つこどもの心と身体の発達の支援と治療を行っています。県内各地から外来・入院を受け入れている施設です。多くの患者を受け入れることができる施設ではなく、経営面で非常に苦しい状況にあると説明を受けました。また、高度な専門性が求められるために、多くの医療スタッフを抱えなければならないことを知りました。実際に施設を見学すると、この施設でなければ支えることができないこどもたちの様子を垣間見ることができました。

年々厳しい財政状況にありますが、社会的に弱い立場の方々にはしっかりとした財政措置ができるよう、取り組んでいかなければなりません。そして、厳しい現場であるほど、実際に現地に赴かなければならないことを痛感しました。



文教厚生委員長としての冒頭の挨拶

3 リエゾングループ訪問

長崎市江川町で主に介護事業を行っているリエゾングループを訪問し、県の支援も受けて、「介護×DX」で世界でも先進的なアプリケーション開発を行っている現状について、説明を受けました。

現在、介護人材不足が叫ばれていますが、このアプリケーションは職場環境の改善や新しい方の教育のために、介助方法を撮影した動画を目の前の現場に合わせてAIが自動的に抽出するツールです。詳細は経済産業省の支援を受けて進めた産学連携を紹介するYouTubeを是非ともご覧ください。

日本は高齢化が進み、世界有数の高齢化先進国と言われています。一方でそのノウハウを如何にしてビジネスチャンスと捉えるのかが非常に重要であり、その先頭を長崎の事業者が走っています。誇らしさを感じるとともに、私も引き続き支援してまいります。

YouTube



※自社調査により

令和7年6月補正予算

以下に令和7年6月補正予算を示します。

名　　称	内　　容	予算[千円]
病床数適正化支援事業費	効率的な医療提供体制の確保を図るため、医療需要の急激な変化を受けて病床数の適正化を進める医療機関に対し給付金を支給。	1,282,293
生産性向上・職場環境整備支援事業費	医療従事者確保のため、業務効率化や職場環境の改善など職員の処遇改善につながる取組を支援。	1,188,728
施設整備促進支援事業費	物価高騰等の影響により、救急医療・周産期医療体制の確保のための施設整備等が困難となっている医療機関に対し、建築資材高騰分の経費を支援。	131,803
産科・小児科医療確保事業費	周産期及び小児医療の提供体制確保のため、患者数が減少している医療機関に対し給付金を支給。 ①小児医療機関支援 ②分娩取扱施設支援 ③地域連携周産期支援(分娩取扱施設・産科施設)	109,837
災害時歯科保健医療提供体制整備事業費	災害時に歯科医療や口腔管理等の歯科保健医療活動の実施に必要な器具・器材の導入に係る経費を支援。	19,007
一般消費者のLPガス価格高騰分への支援	LPガスを使用する一般消費者に対して価格上昇分の一部を支援。	225,000
事業者のLPガス価格高騰分への支援	業務・工業用LPガスを使用する事業者に対して価格上昇分の一部を支援。	76,000
特別高圧の電気代高騰分への支援	特別高圧電力利用事業者の電気代高騰分の一部を支援。	118,000
施設のエネルギー価格・食材料費高騰分への支援	物価高騰の影響を受けている公共性が高い施設の事業者に対して、電気・ガス・ガソリン等のエネルギー価格や食材料費高騰分の一部を支援。	1,098,000
農業水利施設電気料金高騰対策支援事業費	土地改良区が管理する農業水利施設にかかる電気料金高騰分の一部を支援。	7,758

詳細はこちらの県のWebサイトからご確認ください。

（本補正）　（追加）

発行責任者 中村 泰輔
編集責任者 山崎 龍二

お気軽にご相談ください
中村 長崎県議会議員
たいすけ
長崎市みなと坂1丁目
080-5202-5721
nakamura.taisuke.nagasaki@gmail.com
https://www.nakamura-taisuke.net